

不具合事例

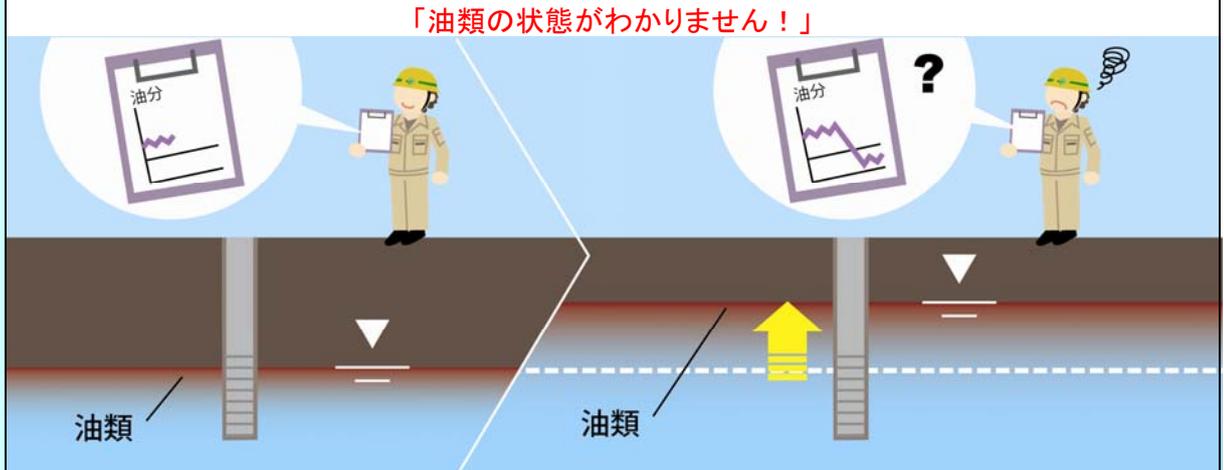
整理番号 C-05-009

タイトル	油汚染のための観測井で地下水面がスクリーン上端より高くなった！		
工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	油類		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center;">「油類の状態がわかりません！」</p>		
作業内容	観測井設置、地下水の水質測定		
使用機器	水位計、油面計、採水器（ペーラー）		
不具合事項	<ul style="list-style-type: none"> ・油汚染サイトで不圧帯水層の地下水の水質モニタリングを目的とした観測井を設置したが、梅雨期になったら地下水位が上昇し、観測井のスクリーン上端深度より高くなってしまった。 ・そのため、油相の状況についての的確に評価ができなくなり、新たにスクリーン上端深度を浅くした観測井を設置することになった。 		
予防措置(計画者・監督者・作業員)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般に不圧帯水層の地下水位は、渇水期に低く、豊水期に高くなり一定ではない。油は水より比重が小さいため、スクリーン上端より地下水位が高い状態では、観測井による油の濃度等の評価が困難になる。このため調査地点周辺における既往の地下水位に関する資料をあらかじめ収集するほか、ボーリング調査結果から帯水層の深さ方向の位置（上面・底面）を推定し、観測井のスクリーン上端深度を検討しておく必要がある。（計画者・監督者） 		
応急措置	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水位がスクリーン上端深度より高い場合、直ちに監督者等関係者に連絡する。 ・監督者は発注者と協議し、観測井の再設置などの措置をとる。 		
その他、留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・油汚染対策ガイドラインでは、スクリーン区間内に地下水面が位置する観測井の設置を求めている¹⁾。油類を対象とする場合には注意が必要である。 ・ボーリング調査時の孔内水位は、どの帯水層のものか明確する必要がある。また、ケーシングや泥水を使用していない状態で計測することが望ましい。 		
関連法規等、出典	1) 油汚染対策ガイドライン pp95		
キーワード	油汚染、地下水位、観測井、スクリーン区間		
発生頻度	<input checked="" type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル

油汚染のための観測井で地下水面がスクリーン上端より高くなった！

説明図



作業内容

観測井設置、地下水の水質測定

指示事項

- ・ 現況の地下水位測定に際しては、地下水位が安定した状態で行うこと。
- ・ 周辺地域における地下水位（特に渇水期、豊水期）の情報を収集しておく。
- ・ スクリーン設置深度設定に際しては、監督者と協議すること。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

本日の重点施策

ヨシ!!

サイン